

平成26年度第67回北海道高等学校サッカー選手権大会函館支部予選会  
兼 全国高等学校総合体育大会サッカー競技函館支部予選会 開催要項

主催 北海道高等学校体育連盟函館支部、函館地区サッカー協会

主管 北海道高等学校体育連盟函館支部サッカー専門部、函館地区サッカー協会2種委員会

当番校 函館ラ・サール高等学校 〒041-8765 函館市日吉町1-12-1  
TEL 0138-52-0365 FAX 0138-54-0365

1期 日 平成26年5月23日（金）～ 26日（月） 4日間  
5月23日（金） 8:00 開会式  
10:00 競技開始（函館ラ・サールG）  
5月24日（土） 10:00 競技開始（函館ラ・サールG・市立函館G）  
5月25日（日） 10:00 競技開始（函館ラ・サールG）  
5月26日（月） 10:00 競技開始（日吉サッカー場）  
16:00 閉会式

2会場 場 函館日吉サッカー場  
函館ラ・サール高等学校グラウンド、市立函館高等学校グラウンド

- 3競技規定
- ① 平成26年度（公財）日本サッカー協会制定の「サッカー競技規則」による。
  - ② 試合開始前に選手と9名以内の交代要員の氏名を主審に通告しておき、その交代要員のうち、4名まで主審の許可を得て交代することができる。
  - ③ 今大会において退場を命じられた競技者は大会を問わず次の公式試合1試合に出場できず、それ以降の処置は、大会の規律委員会で決定する。
  - ④ 今大会において2回の累積警告を受けた競技者は、次の1試合の出場資格を失う。
  - ⑤ ユニフォームについて
    - ア）（公財）日本サッカー協会「ユニフォーム規定」および全国高等学校体育連盟規定に従うものとする。
    - イ）シャツの前面・背面に参加申込書に登録された選手固有の番号をつけること。ショーツの番号については付けることが望ましい。（背番号は1番から20番までの通し番号とする）副ユニフォームについても同様である。
    - ウ）正副2着を必ず携帯すること。（副はシャツ、ショーツ、ストッキングそれぞれ正と明瞭に区別された異色のものであること）
    - エ）縞のユニフォームには、30cm四方の台地に背番号を、約10cm四方の台地に胸番号をつけること。
    - オ）チームのユニフォーム（ゴールキーパーのユニフォームを含む）のうちシャツの色彩は、審判員が通常着用する黒色と明確に判断し得るものでなければならない。
    - カ）参加申し込み以降のユニフォームの変更は認めない。なお、番号の変更も認めない。
  - ⑥ 試合球は各校持ち寄りとする。使用球はモルテンペレーダ405または4000が望ましい。
  - ⑦ 準決勝及び決勝については2種委員会の用意したボールを使用する。

- 4競技方法
- ① トーナメント方式により函館支部代表を決定する。
  - ② 試合時間は1回戦から決勝まで70分間（35分ハーフ）とし、ハーフタイムのインターバルはベンチに戻って原則として10分とする。勝敗が決しない場合は、20分間（10分ハーフ）の延長戦を行い、なお決しない場合はペナルティーキック方式により、次回戦進出校及び優勝校を決定する。

- 5引率・監督 引率責任者は当該校の教員で、監督は学校長の認めた教職員とする。ただし、引率責任者と監督が同一者の場合は教員とする。

- 6 参加資格
- ① 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校（中等教育学校後期課程を含む）に在籍する生徒であること。
  - ② 北海道高等学校体育連盟に加盟している高等学校の生徒であること。
  - ③ 平成26年度（公財）日本サッカー協会に登録を完了した者とする。
  - ④ 「高体連主催大会参加者災害補償制度」に加入した者または加入の意思のある者とする。
  - ⑤ 平成7（1995）年4月2日以降に生まれた者とする。ただし、出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。
  - ⑥ 転校後6ヶ月未満の者（全道大会日起算）は参加できない。（外国人留学生もこれに準じる）ただし、一家転住等によりやむを得ない場合は、支部長の許可があればこの限りではない。
  - ⑦ 転校を伴わなくても他の連盟から高体連加盟チームへ移籍する場合は、上記⑥に準じるものとする。ただし、この規定の適用は当該学年内に限るものとする。
  - ⑧ 参加選手はあらかじめ健康診断を受け、在学する学校の学校長の承認を必要とする。
  - ⑨ 参加資格の特例

ア) 上記①、②に定める生徒以外で③～⑧の大会参加資格を満たした生徒を、別途定める規定に従い大会参加を認める。

イ) 上記⑤のただし書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は同一競技3回までとする。なお、高等専門学校については第3学年までの19歳未満の者に限る。

ウ) 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームの参加を認める。

#### 【大会参加資格の別途規定】

- 1 学校教育法第72条の特別支援学校、第115条の高等専門学校、第124条の専修学校、第134条の各種学校に在籍し、北海道高等学校体育連盟の大会に参加を認められた生徒であること。
- 2 以下の条件を具備すること。

##### ① 大会参加を認める条件

- ア) 全国高等学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
- イ) 参加を希望する特別支援学校、高等専門学校、専修学校及び各種学校にあっては、学齢、修業年限ともに高等学校と一致していること。また、連携校の生徒による混成は認めない。
- ウ) 各学校にあっては、北海道高等学校体育連盟の予選会から出場が認められ、全道大会への出場条件が満たされていること。
- エ) 各学校にあっては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもとに適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べ著しく均衡を失しておらず、運営が適切であること。

##### ② 大会参加に際し守るべき条件

- ア) 全道高校体育大会参加生徒の指導基準及び全道高校体育大会参加心得を遵守し、競技種目開催要項及び申合せ事項に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
- イ) 大会参加に際しては、責任ある教員が引率するとともに、万一の事故の発生に備えて傷害保険に加入しておくことなど、万全の事故対策を講じていること。
- ウ) 大会開催に要する経費については、応分を負担すること。

- 7 チーム編成
- ① チーム編成において全日制課程・通信制課程・定時制課程・男女混成は認めない。
  - ② 参加チームの人員は、監督・引率教員・マネージャー（2名）及び選手（20名以内）とする。
  - ③ 外国人留学生のエントリー数は4名以内とする。そのうち試合に出場することができるのは2名以内とする。

- 8 参加申込
- ① 大会参加の有無を確認するため、5月2日（金）12：00までに参加意思確認書を下記にFAXもしくはE-mailで送信すること。
  - ② 参加申込書に必要事項を記入し、下記にE-mailで送信すること。学校長の職印のあるものは、監督主将会議の受付の際に参加料とともに提出すること。尚、会議欠席の場合は下記に郵送すること。

③ 申込締切

E-mail：平成26年5月7日（水）12：00必着

郵 送：平成26年5月7日（水）消印有効

※ 参加申込書に登録しうる人員は、引率教員1名、監督1名、選手20名以内、マネージャー2名以内とする。

※ 位置（ポジション）については、必ずGK、DF、MF、FWから選んで記入すること。

- 9 選手変更 登録選手の変更は3名以内とし、変更用紙に必要事項を記入し、**できるだけ早くE-mailおよびFAXで当番校に送信する（5月20日（火）12：00必着）**。学校長の職印のあるものは開会式の際に提出すること。番号、ユニフォームの色の変更は認めない。
- 10 組合抽選会 監督主将会議の際に公開で実施する。なお、参加校監督・主将も参加することができるが、参加できない学校は専門委員会に委任し、欠席することができる。
- 11 参加料 ① 選手1名につき300円、高等専門学校は選手1名につき400円。  
② 監督主将会議当日持参し会議前に納入する。尚、欠席の場合は5月7日（水）までに郵送すること。（消印有効）
- 12 表彰 ① 優勝以下3位まで賞状を授与する。優勝校には優勝杯・優勝旗、準優勝校には準優勝杯・準優勝旗を授与し表彰する。  
② 優勝校、準優勝校には6月17日より稚内で開催される北海道高等学校サッカー選手権大会への参加資格を与え、出場を義務付ける。
- 13 諸 会 議 ① 専門委員会 5月 8日（木）11：00 函館ラ・サール高等学校 ラ・サール館  
② 監督主将会議 5月 8日（木）13：30 函館ラ・サール高等学校 ラ・サール館  
③ 開会式 5月**23**日（金） 8：00 函館ラ・サール高等学校 **旧体育館**  
(※ 開会式は監督、主将のみ。ユニフォームで参加のこと。)  
④ 閉会式 5月26日（月）決勝戦終了後 日吉サッカー場
- 14 そ の 他 ① 組合抽選は、春季大会の優勝以下3位までシードする。  
② 出場校は必ず引率教員によって引率され、選手の全ての行動に対して責任を負うものとする。  
③ 選手証は**写真を添付した上で**、開会式に必ず持参し、登録選手のチェックを受けること。  
④ 準決勝及び決勝については、試合開始70分前に両監督が参加し、ミーティングを実施する。そこに選手証（写真貼付）を必ず持参し、登録選手（20名）のチェックやユニフォームの色の決定などを行う。  
⑤ 競技中の疾病・傷害などの応急処置は主催者側で行うが、その後の責任は負わない。なお、参加者は健康保険証を持参すること。  
⑥ 準決勝終了後、直ちに第3位の表彰を行う。  
⑦ 不測の事態により、競技に影響がある場合は、専門委員会、当番校で協議し決定する。  
⑧ ベンチに入れる人数は15名以内とする。  
【監督・引率教員・コーチ・ドクター・マネージャー（2）・交代要員（9）】  
⑨ ベンチの交代要員は、試合に影響がない色のビブス（ゼッケン）の着用を義務付ける。  
⑩ グラウンド条件を考慮し、可能な限りテクニカルエリアを設置する。  
⑪ 試合開始前、終了後のセレモニーはワールドカップ方式とする。  
⑫ 試合後の相手ベンチへの挨拶は速やかに行い自ベンチは直ちに空けること。また、応援席への挨拶はピッチ外を歩いて行い、競技運営に支障の出ないよう配慮すること。

- ⑬ ネックレス・ピアス・ミサンガ・ヘアバンド等の装飾品の着用を禁止する。
- ⑭ 茶髪・金髪・髭などは教育的措置として禁止する。
- ⑮ 本大会優勝以下3位までを、高校選手権大会においてシードする。